

高松市 不登校支援リーフレット



高松市教育委員会

不登校を考える

○ 不登校とは？

文部科学省は、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状態にあるため、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義しています。

不登校とは、取り巻く環境によってどの子どもにも起こり得ることで、不登校の要因は複雑かつ多様化していることから、即効性のある手立てや全ての事例に該当するような方策はありません。しかし、関係機関等と連携し、未然防止や初期対応に取り組むことで、一定の効果が期待できるものと考えています。



○ 初期対応を大切に

学校に行かない、または行けないのは、子どもにとって何らかの理由があるからです。また、登校しない状態が長引くと、それ自体が集団や学校に対する緊張や不安を高めるという二次的症状を引き起こすことも考えられます。

子どもの置かれている状態を的確に把握し、早期に対応することで、子どもの欠席が長期化することを防げるかもしれません。P5を参考に、お子様の様子を見てみましょう。

【本人要因】

不安の大きさや無気力状態。
また、感覚の過敏さや、
発達障がい引き起こす
二次的障がいなど

【学校要因】

学習内容の理解や
友だちや教職員との関係など



要因・背景

【家庭要因】

家庭環境の変化や
家族との関係

本市の不登校支援のための施策や相談機関を活用しましょう

児童生徒への支援

教育支援センター

➡ (相談・申込) 在籍校

教育支援センター(適応指導教室)では、不登校児童生徒を対象に、学習活動のサポートに加え、様々な体験活動を行います。それらの活動や周りの人とのかかわりを通して、児童生徒が自分を見つめ、自分らしさを取り戻すための場所です。

本市の教育支援センターは、「新塩屋町 虹の部屋」と「みなみ」の2教室があり、少人数の部屋で自分のペースで過ごせます。

不登校の状態にある児童生徒の学校、家庭に次ぐ第3の居場所として、学校復帰や社会的な自立をめざしています。料理活動や体育活動、書写活動など、体験活動も随時行っています。

【料理活動】

月に1回みんなでメニューを決めて実施しています。

近くのスーパーで、食材を買ったり、畑で育てた野菜を使ったりして楽しく調理し、食べています。

【体育活動】

月に1回、体育館や運動場で実施しています。

卓球やバスケットなど普段昼休みに活動している種目や体幹エクササイズや駅伝競走など、季節に応じた活動を行っています。

【書写活動】

学期に1回、講師の先生を招いて実施しています。

大きな紙に体を使って書いたり、うちわや色紙に好きな言葉や絵を書き添えたりと、毎回個性あふれる作品を作っています。

1日の流れ

- 9:00~10:00 読書
- 10:00~11:45 学習・休憩
- 11:45~13:00 昼食・休憩(月・木は12時に振り返り・降室)
- 13:00~14:10 活動(体育活動や運動場で軽スポーツ など)
- 14:10~14:30 振り返り・降室



教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」

末広町5番地(高松市総合教育センター内)

☎ 087-851-2011

片原町駅より徒歩5分

教育支援センター「みなみ」

出作町348番地6(龍雲中学校西100m)

☎ 087-889-8900

仏生山駅より徒歩10分



不登校の要因の一つに発達障がいがあるベースとなった学校生活の送りにくさがあります。サテライト教室とアシスト教室は、特性に合わせた学習方法の習得やSST（ソーシャルスキルトレーニング）を行う二つの教室です。教育支援センターに通室しながらでも利用できます。

※ SSTとは、人とのあいさつや会話などのコミュニケーションを始め、社会の中で暮らしていくためのスキルを身に付けるトレーニングのことです。

サテライト教室

➡（相談・申込）在籍校

発達障がいのある中学生のための通級指導教室です。SSTや自分の特性にあった学習方法を身に付けていきます。（就学判定が必要）

対象：学習障がい、ADHD、ASDなど発達障がいのある中学生

場所：教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」（週1日開室）（13時～16時35分）

教育支援センター「みなみ」（週1日開室）（13時～16時35分）

時間：1回50分程度

回数：月1～4回程度 最長2年程度

アシスト教室

➡（相談・申込）在籍校

特別な支援が必要な小・中学生のための短期の支援プログラムです。通常の学級に在籍し、学習や生活上の困難があるお子さんを対象に、放課後の時間などを利用した一定期間の個別指導で、自分に合った学習方法や社会的なスキルの習得をめざします。また、教育支援センターなどの小集団に入りにくいお子さんも利用することができます。（就学判定は不要）

対象：特別な支援を要する小・中学生

場所：教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」 火・水・金（13時～19時）

教育支援センター「みなみ」 月・木（13時～17時）

時間：1回50分程度

期間：Ⅰ期（4～8月）、Ⅱ期（9～12月）、Ⅲ期（1～3月）

回数：全13回程度（面接、プランニング、指導、事後面接）

フレンドシップ

➡（相談・申込）在籍校

フレンドシップという参加・体験型の行事があり、教育支援センター通室生以外でも興味や関心のある児童生徒が参加できます。

	場所	活動内容
フレンドシップ in サマー （8月）	屋島少年自然の家 など	・つり ・野外炊事 ・塩水プール ・制作活動 他
フレンドシップ in オータム （10月）	高松市総合教育センター	・活動報告 ・演奏、ダンス ・制作活動 他

ICTを使った学習システム

➡（相談・申込）在籍校

ICTを使った学習システムは高松市が提供する不登校の状態にある児童生徒のためのオンライン学習支援システムです。Windows パソコンでインターネットに接続できればどこでも学習が可能です。無料で利用できます。（インターネット接続に係る経費は個人負担）

親子への支援

フレンドシップ

➡ (相談・申込) 在籍校

フレンドシップには親子で参加できる「フレンドシップ進路説明会」があります。不登校の状態にある中学生にとって進路選択は切実な問題です。多様な選択肢を情報提供することは、子どもの心の安定にもつながります。学校の進路説明会では紹介される機会の少ない定時制高校や通信制高校、サポート校の情報提供を行っています。

	場所	参加校
フレンドシップ 進路説明会 (10月)	高松市総合教育センター	・公立定時制 ・私立全日制 ・サポート校 ・公立通信制 ・広域通信制

カウンセラーによる教育相談

➡ (申込) 高松市総合教育センター TEL 087-811-2161
URL <http://www.edu-tens.net/kyouikuken/>

週に1回程度、教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」「みなみ」において、カウンセラーによる教育相談を行っています。1回60分、無料で、電話予約が必要です。スケジュールは総合教育センターホームページに掲載しています。

カウンセラーによる訪問支援

➡ (相談・申込) 在籍校

教育支援センターに来ることが困難な方には、カウンセラーが家庭や学校で相談を行う訪問支援を行っています。(実施日は調整が必要)

保護者への支援



「保護者への情報提供 ～登録制メール連絡網～」

情報提供希望者として登録していただいた方に、「不登校を考える会」や「親の会 ～夜会～」の案内を配信しています。(登録の申し込みについては、教育相談や教育支援センターの見学、不登校を考える会やフレンドシップなどで来所された方に案内しています。)

➡ (申込) 高松市総合教育センター TEL 087-811-2161

不登校を考える会

➡ (相談・申込) 在籍校

大学教員など専門家を招いた不登校を考える会を開催しています。専門家の講演を聞いた後、小グループに分かれて悩み相談会も実施しています。(年間2回)

親の会 ～夜会～

➡ (相談・申込) 教育支援センター

「親の会」とは、教育支援センター通室生の保護者、スタッフ、カウンセラーと一緒に、子どものことや不登校に関することなどについて語り合う会です。(年間5～6回)

「親の会 ～夜会～」は、昼間、働かれています方にも参加しやすい夕方に行っており、情報提供希望者として登録いただいた方も参加できます。(年間2回)

○ 子どもが出すサインに寄り添って…

子どもが出すサインは見れば分かるものでもありませんし、誰に対しても発せられるものでもありません。サインを敏感に察知し「いつもと何かが違う」と気付けるためには、日頃からの観察が大切になってきます。

学習面

- うつぶせるなど、姿勢を崩すことが増え、学習意欲がなくなったように見える。
- 提出物があまり出せなくなり、成績が低下傾向にある。
- 特定の教科がある日に欠席や欠課をしている。
 - ▶ 教師との関係性
 - ▶ 感覚過敏による理科室（嗅覚）や音楽室（聴覚）での授業

友だちとの関係

- 仲のよかった友だちと距離をとるようになった。
- 家族との会話の中で、学校生活や友だちの話題が減ってきた。
- 登校時間が以前と変わって早く（遅く）なった。
- 部活動を休みがちになるなど、放課後の過ごし方が変わった。

表情や態度

- 以前に比べて笑顔が減り、投げやりな発言をするようになった。
- 食欲がなくなってきた。
- 一人になりたがり、集団での活動を避けがちになった。
- 万引きなどの反社会的な行為が見られた。
- 他の人が叱られているときに表情がこわばっている。

服装・身なり

- 爪が長い（短い）。
- 髪がぼさぼさで、あまり手入れされていない。
- だらしない服の着方をしている。
- 髪で顔を隠そうとしている。
- マスクを外さなくなった。
- 自傷行為が疑われるような跡がある。

家庭生活面

- 学校のことを聞くと不機嫌になったりはぐらかしたりする。
- 好きなこともしなくなり、生活全般で意欲が低下する。
- 朝になると、頭痛や腹痛を訴えるようになった。
- 部屋に閉じこもりがちになり、夜遅くまでスマホやゲームをして、昼夜逆転している。
- 過度に甘えたり、わがままになったりする。
- 物をなくしたり、嘘をついたりすることが増える。



**「原因探し」にこだわらず、
子どもの可能性を広げるために何ができるかを一緒に考えましょう。**

子どもを支える両輪となるはずの保護者と学校が、お互いを原因と見なして矛先を向けることだけは絶対に避けなければいけません。背景を探ることは、支援の方向性を考える上で欠かせませんが、不登校の原因やきっかけは一つではなく、しばしば複合的に絡み合っていることがあります。「なぜ行けなくなったのか」という原因や「どうしたら行けるのか」という方法のみに終始するのではなく、「子どもの可能性を伸ばすためにはどうしたらよいか」という将来の展望に関する視点を学校と共有することを意識しましょう。

保護者や教員の相談窓口

高松市総合教育センター 支援係

- 不登校及び教育支援センターへの通室、各種施策の相談・・・087-811-2163
*対象：教員 *時間：平日 8:30～19:00（祝日・年末年始を除く）
- 臨床心理士による不登校相談・・・・・・・・・・週2日（上記へ問い合わせ）
*対象：教員・保護者・不登校児童生徒
*場所：教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」「みなみ」
*備考：来所・電話対応可（ケースにより家庭・学校への派遣も有り）

香川県教育センター 教育相談課

- 子ども電話相談・・・・・・・・087-813-3119
*対象：子ども *時間：9:00～21:00（通年）
- 子育て電話相談・・・・・・・・087-813-2040
*対象：保護者、学校・園関係者 *時間：9:00～21:00（通年）
- 来所相談・・・・・・・・087-813-0945（要予約）
*対象：子ども、保護者、学校・園関係者
*時間：①平日 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）
②第2、4土曜日 13:00～17:00（祝日・年末年始を除く）
- メール相談・・・・・・・・kesoudan@kagawa-edu.jp
*対象：子ども、保護者 *時間：24時間（通年）返信時間をいただくことがあります。
- 24時間いじめ電話相談・・・087-813-1620
0120-0-78310（24時間子供SOSダイヤル）

かがわ若者サポートステーション

高松市花ノ宮町 3-2-2 山田ビル1階（ハローワーク高松西隣）

- 中学校卒業後の進路相談・・・087-813-6077
*対象：義務教育終了後の15歳から39歳の仕事をしていない方、あるいは、仕事をやめた後、一定期間無業状態にある方とその家族。香川県委託事業として、高校在学中からの相談も可。
*時間：平日 9:30～17:30（祝日、盆、年末年始を除く）

香川県発達障害者支援センター『アルプスかがわ』

高松市田村町 1114 番地（かがわ総合リハビリテーションセンター内）

- 電話や面接による相談・・・087-866-6001
*対象：本人・家族（面接は要予約）
 - 訪問等による相談（ケース会議など）
*対象：学校園などの機関や事業所
- *時間 平日 9:00～17:00
（祝日・年末年始を除く）
*相談内容 生活・学習・就職など

高松市 不登校支援リーフ 笑顔で学校生活を送るために（保護者向け）

令和元年9月発行
高松市教育委員会 高松市総合教育センター
TEL：087-811-2161 FAX：087-811-2170
E-mail：kyouikuken@edu-tens.net

